

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2017年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会要項および申し合わせ事項により行う。

2 競技場使用について

- (1) ウォームアップ場は、補助競技場を原則とする。
- (2) 砲丸投の練習については、補助競技場内砲丸投ピットのみとする。安全に留意すること。
- (3) 棒高跳の練習については、本競技場内の棒高跳ピットとする。5日（土）の8:30～11:30までとする。
- (4) 練習は、係員の指示によって行う。
- (5) 練習および競技で使用したマーカー（テープ類）は、必ず使用後に各自で処理すること。
- (6) 全天候走路であるため、スパイクのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳は12mm以下とする。また、スパイクの本数は11本以内とする。
- (7) 100mおよびハードル種目に出場する選手は、ゴール後ホームスタンド下通路をスパイクを脱いで通り、スタート地点に戻る。その他の種目に出場する選手は、役員の指示に従いスタート地点へ戻る。

3 雨天練習場について

- (1) 雨天時に限り雨天練習場を開放する。
- (2) 出入りは、第2ゲート側のみとし、第3ゲート側からの出入りは禁止とする。
- (3) シート等を敷いて、独占的な使用をすることは絶対にしないこと。
- (4) 使用は、体操、ストレッチ、動き作り、ジョギング程度とし、スパイクを履いての走行や、器具（ピストルやスターティングブロック、ミニハードルやメディシンボール等）の使用は禁止する。
- (5) ウォーキング・ジョギング等は左回りとし、逆走はしないこと。

4 選手招集について

- (1) 招集所は、競技場第2ゲート付近（1500mスタート地点外側）に設ける。
- (2) **招集完了時刻**は次のとおりとする。

トラック競技 （四種競技を含む）	フィールド競技 （四種競技を含む）	棒高跳
競技開始20分前	競技開始30分前	競技開始100分前

- (3) 招集の手順
 - ① 競技者は、招集完了時刻5分前までに招集所に集合し、点呼を受ける。その際、競技役員にナンバーカードとスパイク、衣類および競技場内へ持ち込む物品等の確認を受けた後、競技役員の指示に従って入場する。携帯電話や通信機器および音楽再生機等は持ち込めない。
 - ② 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技に出場できない。
- (4) 2種目を同時に出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が該当の招集時刻20分前までに競技者係に申し出る。2種目同時に出場する場合は、トラック競技を優先する。
- (5) リレー競技に出場するチームは、招集完了時刻の1時間前までにリレーオーダー用紙を競技者係まで提出する。リレーオーダー用紙は招集所に準備する。
- (6) 競技への出場をやむを得ず棄権する時は、招集完了時刻5分前までに競技者係に申し出る。
- (7) 四種競技者は、最初の種目のみ招集所で競技者係の点呼を受けるが、以後の2種目目からは、招集所で招集係の確認のみを受ける。

5 競技について

- (1) 予選におけるトラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の左側の番号で表す。トラック競技の決勝については、主催者側が公平に抽選をし、その結果を番組編成表示板に掲示する。
- (2) トラック競技において決勝進出者を決定するとき、同記録者があり、レーン数が不足する場合は、日本陸連の規則に準じて決定する。
- (3) レーンで行う競技種目で棄権者があった場合は、そのレーンをあける。
- (4) 短距離種目では、事故防止のため、フィニッシュ後も自分に割り当てられた走路（曲走路）を走る。
- (5) リレー競技においては、チームの出場者は同一のユニフォームを着用する。
- (6) リレー競技のマーカーの使用は1カ所とする。

- (7) 競技場内での跳躍、投てきの練習は、審判員の指示によって行う。
- (8) 三段跳においては、踏切板から砂場までの距離を10mとする。

6 競技場への入退場について

- (1) 競技場への入場はすべて係員の誘導による。
※ 競技開始場所においても、直前の点呼があるので勝手に行動しないこと。
- (2) トラック競技の出場者はフィニッシュライン到着後、係員の誘導によって退場する。
- (3) フィールド競技の出場者は、係員の指示に従って退場する。

7 ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは指定の大きさのまま数字が明瞭に見えるように、ユニフォームの胸背部に確実につける。ただし、走高跳・棒高跳の出場者は胸または背のいずれかにつけるだけでよい。また走幅跳・三段跳は胸につけるだけでもよい。
- (2) トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識を選手招集所で受け取り、ランニングパンツ右横やや後方に取り付け、競技終了後係員に返却する。

8 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

- (1) 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方は、最後の1人になるまでは次のとおりとする。

走高跳	男	150(練習)	155	160	165	170	173	176	179	182	185	以後3cmごと
	女	125(練習)	130	135	140	145	148	151	154	157	160	以後3cmごと
四種 走高跳	男	135(練習)	140	143	146	149	152	155	158	161	164	以後3cmごと
	女	115(練習)	120	123	126	129	132	135	138	141	144	以後3cmごと
棒高跳		260(練習)	270	280	290	300	310	320	330	340	350	以後10cmごと
		360(練習)										

- (1) 棒高跳の支柱移動は、口頭で競技役員に伝える。
- (2) 高さを競う競技開始の最初の高さは天候等により、審判長と総務員で協議して変更することがある。

9 競技用具について

- (1) 競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。ただし、棒高跳用ポールは個人所有のポールを招集所で検査を受け、合格したものに限り使用が認められる。
- (2) 練習用としても個人の用具を競技場に持ち込んではいならない。

10 表彰について

- (1) 各種目の表彰は1～3位まで行うので、入賞者は決勝終了後、入賞者控所（エントランスホール）で待機し、表彰係員の指示に従うこと。表彰は上半身ユニフォームを着用のこと。
- (2) 総合の表彰は男女各3位まで行う。なお、各種目の入賞者の得点は1位8点、2位7点、3位6点、以下5、4、3、2、1点とする。総合得点が同点の場合は、1位種目の多い学校を上位とする。
- (3) 総合男女各1位校に、優勝杯（持ち回り）を授与する。

11 応援横幕・のぼり旗、個人テントの設置について

- (1) 応援横幕・のぼり旗などは、サイドスタンドおよびバックスタンドの中段通路より上に設置すること。（最前列の手摺り不可）
- (2) スタンド等の通路をさえぎる状態での設置はしないこと。
- (3) 設置については、ロープ等を使用すること。粘着テープ等の使用は禁止する。
- (4) 個人名の入った応援横幕・のぼり旗等は許可しない。
- (5) 本競技場内の個人テントの設置は、サイドスタンド及びバックスタンドとする。

12 その他

- (1) 閉会式には、総合得点で上位入賞校は必ず参加すること。
- (2) 応急処置を要する場合やその他健康上の問題が発生した場合は、正面スタンド下の医務室まで連絡すること。
- (3) 記録は正面玄関エントランスホール付近に掲示する。
- (4) スタンド等で出たゴミについては必ず各校で持ち帰ること。